

小山市政の 8年間を振り返る

平成 21 年
～
平成 29 年



▲市役所別館が完成し庁舎の統合が実現しました

小山市政の1期目 平成21年～平成25年

小山達生前市長は、平成21年3月6日に2代目の福津市長として就任しました。生まれも育ちも福津市。26年間務めた県議会議員の経験を生かし、前市長である池浦順文市長から受け継ぐ形で、市の行財政の自立や市民との共働、防災や子育て、高齢者対策などに力を注ぎます。

また、市内の伝統や文化、自然環境などに注目した施策に取り組めます。松くい虫の影響で枯れたり、草刈等の手入れがされず、荒れたりしていた松林にも、地域の手を借りながら対策を進めます。また、当時から価値を認められていた新原・奴山

古墳群の世界遺産登録推進にも積極的な取り組みを開始します。

平成23年頃から、福間駅東地区の開発に伴う人口の増加が始まります。JR福間駅の新駅舎の開業や上水道事業の統合、福間地域の市道も整備されました。また、津屋崎千軒なごみや、行政観光情報ステーションなどの施設も誕生しました。

小山市政の2期目 平成25年～平成29年

平成25年3月6日から小山市政の2期目が始まりました。急激な人口増加への対応や、合併することで増額されていた地方交付税の段階的な減額などの課題を抱えながら、自立した行財政運営を目指した市政への取り組みが求められました。

まず、まちづくりに関しては「住んでみたい」「住み続けたい」



▲松林保全活動では清掃に加えて積極的な植樹も行われました

分かれて行っていた業務を福間庁舎に一本化し、より効率的な行政運営が可能になりました。庁舎の統合を実施した一方で、津屋崎地域には津屋崎行政センターを設置して住民サービス低下の防止を図りました。また、旧津屋崎庁舎は図書館や資料館の機能を併せ持った施設として、7月頃に生まれ変わる予定です。2月19日には小山前市長が県議会議員時代から推進してきた、福津市と宮若市を結ぶトンネル「見坂トンネル」の貫通式が開催されました。交通の利便性が高まるだけでなく、経済的な分野にも関わる重要な社会基盤の整備が行われました。開通は来年の春頃を予定しています。



小田達也 副市長が退任しました



▲退任した小田達也副市長

私、小田達也は、3月7日をもって、福津市副市長を退任させていただきました。私が市職員時代から市長や職員と一から取り組んできました、福間駅東地区の土地区画整理事業や福間駅東西自由通路整備事業

業の完了、また、公共下水道整備事業の完了が近づいたことを見届けられました。そして、行政改革の最たる市役所庁舎統合が実施されたことで、福間庁舎への行政事務一本化と、旧津屋崎庁舎のリニューアルによる津

屋崎地域の活性化にもめどがあったこと、さらには小山達生前市長が退任されたこともあり、私もここを退任の時と判断しました。皆様には、長い間たいへんお世話になりました。深く感謝を申し上げます。



▲平成 29 年 2 月 19 日、見坂トンネルの貫通式



▲平成 28 年 5 月 6 日、文部科学副大臣が新原・奴山古墳群を視察



▲平成 27 年 10 月 19 日、市の人口が 6 万人を突破



▲平成25年11月9日、花見地区で大規模な津波避難訓練



▲平成 23 年 5 月 17 日、第 1 回目の鯛茶づけフェアが開始



▲平成 22 年 2 月 27 日、J R 福間駅の新駅舎が完成



▲平成 21 年 9 月、福津ブランド「福津の極み」認定品が誕生



▲平成 21 年 3 月 6 日、小山達生前市長が初登庁